

おわりに

特別支援学校の重点課題である「特別支援教育のさらなる推進」、「地域における特別支援教育のセンター的機能」、「特別支援教育担当教員の専門性の向上」等の観点から学校組織の改善、学校運営の改善は、重要な課題の一つだといえる。こうした観点から、平成 23、24 年度の 2 カ年計画で「特別支援学校の特性を踏まえた学校評価の在り方に関する基礎的研究」（研究代表者 大内 進）を実施した。

平成 23 年度には、学校マネジメントに関する先行研究や特別支援教育に関する知見の整理し、これまでの国内における「学校マネジメント」の考え方とその実践に関する先行研究や実践事例について取りまとめた。また、合わせて、海外、特にイギリスにおける特別支援教育と学校マネジメントに関する取組状況とその研究の動向について文献収集、テレビ会議による Ofsted からの情報収集、現地調査をおこなった。さらに、全国のすべての特別支援学校長を対象として、学校マネジメントの考え方や取組の実態に関する質問紙調査を行い、膨大なデータを収集した。

平成 24 年度には、平成 23 年度に実施した調査結果を整理するとともに、調査結果に基づいて、先進的な取組をしている回答を抽出し、訪問聞き取り調査を実施した。特に特別支援学校における、教員の専門性向上にむけた条件整備と学校経営、幼・小・中・高等部の学部間連携の改善、ミドルリーダー層への活用による学校校長の学校運営の在り方、地域における特別支援教育のセンター的機能の充実などに関して先進的な取組例の収集に努めた。また、都道府県及び中核市教育委員会を対象とした、特別支援教育の分野に関する学校マネジメントに関する基本的な方針及び研修の実施状況について調査し、学校マネジメント研修の実態と課題、展望等について整理した。

これらの 2 年間の取組を集大成したのが本報告書である。学校長のリーダーシップや学校マネジメントについては、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の学校種を問わず共通するところが多いが、特別支援学校については、学校の大規模化、幼稚部から高等部までの学部間の連携、地域の特別支援教育のセンターとしての機能、障害種等の専門性の維持及び発展に関するマネジメント等、他の学校種にはないものもある。本研究から教育委員会の方針や研修は、学校種全体に共通する内容が主になっていることが明らかになった。今後、各学校種個別の課題への対応にも力点が置かれるようになってくることが期待される場所であるが、そうした点も鑑み、本研究が全国の特別支援学校の学校マネジメントに寄与するところがあれば幸いである。

最後に、多忙な中、質問紙調査にご回答いただいた全国の特別支援学校の学校長及び都道府県、中核都市教育委員会の担当者の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
教育支援部 上席総括研究員
大内 進

専門研究 A

特別支援学校における学校マネジメントと校長のリーダーシップの在り方
に関する研究

平成 23 年度～24 年度

研究成果報告書

研究代表者 大内 進

平成 25 年 3 月

著作 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL : 046-839-6803

FAX : 046-839-6918

<http://www.nise.go.jp>

